

土壌改良資材を用いた化学肥料の低減「保水保肥有機ポリマー(EFP)」

EF Polymer株式会社
(沖縄ブロック)

技術概要：近年の化学肥料価格の高騰は生産者を苦しめている。更に、環境配慮・土壌環境保全の観点から、みどりの食料システム戦略でも謳われているように、今後化学肥料の使用量の削減(2030年までに2割、2050年までに3割)が求められている。完全有機・完全生分解性を有する超吸水性ポリマー(EFP)を畑に散布することで、EFPの保肥効果による**肥料の使用量削減(2割程度)**のみならず、**土壌の保水性を高め流亡する肥料量を削減することで肥料の効果期間延伸**を実現することが可能。

品目：パイナップル・さとうきび 等
技術分類：保肥
導入効果：減肥・肥料の効果延伸

EFP利用による減肥効果および肥料の効果期間延伸 (沖縄県 北部地域 – ゴールドバレル)
 対象区 試験区1 試験区2
 (EFP2kg/10a, 100%施肥) (EFP2kg/10a, 80%施肥)



技術導入・普及時の問題点

- 生産者の減肥意識が低い・減肥恐怖症(減肥をすることで収量が減ってしまうと考えている)。
- 当社製品の可能性・利用法をを理解し、実際に生産者の指導に当たってくれる指導者の育成。
- 現地実証実験を通してそれぞれの地域における最適なEFPの利用方(散布方法および利用量)の確立が必要。



解決に向けた取組

普及・研究活動を繋ぎ、農家圃場での実証を複数・大規模で実施、普及・研究・農家で成功体験を共にすることで、より詳細かつ最適なEFPの利用方の確立、指導員・農家への認知拡大・動機付けを行う。

沖縄・九州でのさとうきび実証実験結果 (例)

慣行区・試験区詳細	茎数	茎長 (cm)	反収 予想
慣行区: EFP+肥料60kg	9,333	249.5	7.65t
EFP2kg/10a + 肥料60kg	11,333	255.5	9.35t
EFP2kg/10a + 肥料40kg 2割減	10,333	232.4	8.5t